

「原発ゼロ」調布行動 ニュース 2025年11月11日

調布「憲法ひろば」サイト <http://choufu9jou.sakura.ne.jp/> の一角に「調布・市民運動情報」という赤いボタンを設置しました。うまく見れない場合、このサイトから閲覧を。

なお「原発ゼロ」の送信アドレス不調のため、このアドレスから発信しますが、何か不都合が生じた場合は、このメールへの返信などでお知らせください。 (編集者)

調布市民のみなさん

このニュースは、毎月11日に行なっている「原発ゼロ」調布行動をめぐる情報を交流するものです。

今日は、フクシマ原発事故（東日本大震災）から満14年9か月の12月11日（木）に行なった「第156回行動」の報告と、来年1月11日（日）に予定する「第157回行動」のご案内をお届けします。 (編集者)

フクシマ 避難者いまだ2万5千人 ウクライナとロシアの死傷者140万人 パレスチナとイスラエルの死傷者24万人

原発も戦争も今すぐなくそう！

第156回「原発ゼロ」調布行動 寒さと怒りに震えて60人

12月11日（木）10時半から、今年最後の第156回「原発ゼロ調布行動」を調布駅前で行ないました。

今回の担当は前回に引き続いで「学習サークル・アネモネ」のみなさん。司会は知識明子さん、スピーチ調整は大本久美さん、記録は秋山秀子さんと大橋美知代さん、写真はむらき数子さん、音響装置とハンドマイク準備は鈴木勝雄さんが受け持ちはしました。

駅前改修工事の大きな囲いが外されて、大きく広がった広場で、寒いけれども晴天にめぐまれて、気勢のあがった行動でした。調布警察に「音がうるさい」との110番電話があったと言うことを伝えにきた警察官も寒そうでした。



▼♪歌「星の世界」「群青」

東北人 鈴木勝雄さん 福島（二本松）出身、故郷も原発の被害を受けた

小林さん 岩手（釜石）出身

ハンドマイクは皆さんのがんばで買うことができた。

▼沼倉潤さん（多摩市）

原発再稼働反対ネットワークで活動している。

◎八戸のとなり三沢市の人からの話、報道はないが今回の地震の被害がかなりあるらしい。六ヶ所村処理工場は未完成。使用済核燃料を冷やす施設で汚染水 650t漏れた。報道では 大したことないとしているが、配管の損傷は伝えられない。溢れた汚染水の量は 3, 11 より多い。放射線が高く人が入れない。

◎東海第2原発は 2023 年防潮工事をしているが欠陥工事が明らかになり工事中断。

電気は生み出せず、収入ゼロ、東電などが 900 億円資金援助している。危険な原発を動かそうとしている高市政権に対して、原発のない安全な日本をめざして国民、市民の声を大きくしていこう。



▼大石美香さん（西つつじヶ丘）

先日の地震、起きるたび「原発は大丈夫か」と心配している。その後北海道知事は泊原発の再稼働を表明。原発が安いと言っているがそんなことはない。一旦事故が起きたら大変な費用がかかる。



▼加藤由美子さんと（多摩川）

デブリ 5 ミリグラム取り出すだけでも大変なのに泊原発再稼働の動き。高市政権は国民のためにならない最悪の内閣。

「生活と健康を守る会」の一員として「生活保護費削減は違憲」判決が出たが補償はない。司法判決を守らない。生活保護費は全ての国民にかかるもの。

▼佐橋正文さん（西つつじヶ丘）

私たちはこの集会を 156 回も続けている。もっともっと声を大きくして原発ゼロを進めて行こう！原発事故の責任も取らず、電気代に上載せして私たちの税金を上げている。

東海第 2 原発事故が起きたら、広島の 800 発分排出されると言われている。日本には住めない状況になる。「原発なくせ」！コールを 5 回

▼♪歌「人間のうた」

司会 通行する人々へ、原発ゼロ集会をやっていることをアピール。



▼高山栄子さん（多摩川）

新潟・柏崎刈谷原発、北海道・泊原発と再稼働の動きに対して、「私たちの声を聞け」「知事だけで決めるな」と市民の声は大きい。

汚染水をアルプス処理水というそうだが 1000 トンの汚染水を 30 年間海に放出して海を汚し続けるようなことを子どもや孫に残したくない。高濃度の汚泥を処理するから問題ないとしているが、地球を壊すこと止めにして欲しい。原発はいらないとつくづく思う。（金子みすゞの詩「大漁」を朗読）

▼鈴木彰さん（多摩川）

この行動も 156 回続いた。全ての原発を止めた時期が続いたのは、私たちと国民の運動の成果であることを確信しようと思うが、今は当然のような顔をして再稼働の動きが起こっている。住民への説明もなく、国会で討論した訳でもないのに、政権が方針として推進している。その大本には防衛費増額、核依存、そのために暮らしと福祉のお金を横流しする政治がある。しかしこれらは、私たちが包囲して、今は少数派に追い込んできた権力の悪あがきなのであって、歴史の大道をそれた彼らは決して成功することはない。私たちが声を上げ続けている人間が人間として生きるたい、「戦争反対」「原発ゼロ」「核兵器廃絶」の願いは必ず勝利する。156 回続けてきた行動を誇りに、がんばって行こう！

▼♪歌「世直し音頭」「すばる」



第157回 「原発ゼロ」 調布行動

日時：2026年1月11日(日)

10時半～11時半 於：調布駅前

次回は来年です。2026年の1月11日(日)。福島原発事故から14年と10ヶ月目、「調布行動」は第157回目となります。1月と2月の企画・進行・司会は「年金者組合」のみなさんが受け持ってくれます。

参加される方は、それぞれの思いをプラカードやミニカードに書いて集まりましょう。どんなことでもいいから「ひとつこと」は言ってやろうというトークの準備もしてください。色んな人が、短くてもいいから「ひとつこと」を！

準備してきたのにトークができなかった場合、メモを編集部にいただければ、このメールでみなさんに伝えます。

*小雨の場合はプラカードを持ってスタンディングなど、可能な範囲の行動に切り替えます。大雨の場合は、参加者各自でご判断を！

なお、今後の「窓口さん」は、以下のように申し合わせていますが、われこそはというグループは、ぜひとも名乗り出て、輪番に加わってください。「1回だけ受け持つてみよう」というグループも大歓迎です。

157～158回（26年 1～2月） 年金者組合

159～160回（26年 3～4月） 新婦人

161～162回（26年 5～6月） @ちようふ